

商業科「マーケティング」学習指導案

1 単元について

(1) 単元名「第5章 製品計画

1. 製品計画の概要 2. 製品ミックスと製品政策」

(2) 単元の概要と目標

何ができるようになるか	
製品計画の概要と目的など製品計画の知識を基盤として、経済や消費者の動向、製品計画に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、製品計画について、組織の一員としての役割を果たすことができるようになる。	
何を学ぶか	どのように学ぶか
製品計画の目的、重要性などを学び、製品の多様化とサービス化、企業と顧客との関係の変化及び他の企業との協働による製品政策の動向について学ぶ。	製品計画の目的と重要性について学ぶ。ブランドの考え方、ブランドを構築することの重要性、受容性について扱い、具体的な事例を用いて考察する。

(3) 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製品計画に関する基礎的・基本的な知識を身に付けて、ビジネスの意義や役割を理解し活用している。	製品計画に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、製品計画を立案して実施し、評価・改善を行う。	製品計画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、自らの学習を調整しながら、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

(4) 指導と評価の計画 (7) 時間

次 程	学習活動	評価の観点			評価規準 ・評価方法
		知	思	主	
第 一 次 (2 時 間)	製品計画の概要 [ねらい] 製品計画は、企業の利益の実現と社会の長期的発展の基礎となるものであることを把握させる。				
	■ワークシート記入 商品計画の内容、製品計画の重要性及び内容をワークシートに整理する。				
	製品計画の内容や流通業者による商品開発を具体的な事例を用いながら気づかせる。				
	製造物責任と環境保全について具体的な事例を用いながら気づかせる。 ・製品ミックスと製品政策を整理する。				
	製品ミックス構成、製品ミックスの拡大・縮小の取り扱いについて、具体的な事例を用いながら気づかせる。				

	<p>■単元テスト</p>	●		<p>【知技】 単元テスト</p>
<p>第二次 (5時間)</p>	<p>[ねらい] 企業と共に製品を開発したり、顧客が新しい顧客を生み出したりするなど具体的な事例を用いて分析し、考察することができる。</p>			
	<p>■既存製品の改良について、企業における事例と関連づけて理解する</p> <p>地元の企業「宮崎高砂工業株式会社」の実例を通じて、製品の改良についてどのような工夫がされているのかを理解し、ワークシートに記入し整理させる</p>	●		<p>【知技】 [個人ワーク] ・既存製品の改良についてその内容を明確に記述できる</p>
	<p>■ミラクルワードの選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布されたミラクルワードカードから「レンガ」と組み合わせると発想が広がるカードを選択し、その理由を考える <p>■5W1Hマップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レンガ」の新用途の開発について意見を交換し、グループの中からワードを1つ選択し、意見を交換しながら対象を明確にしていく <p>6名1組でグループを組み、それぞれの案を確認し、1つ選ぶ 5W1Hマップに沿って、それぞれの考えをまとめる</p>	●	●	<p>【思判表】 [ワークシート] ・ミラクルワードカードを活用して自ら問題解決しようとし、理由について記述ができる</p> <p>【主体】 [ワークシート] ・意見交換をしながら新用途の開発について班の意見をまとめ、マップの作成に貢献することができる</p>
	<p>■発表用シートの作成</p> <p>5W1Hマップによる提案事項を発表用シートの記述につなげる</p> <p>■ポスターセッション</p> <p>1チーム2分間の発表、1人ずつ班に配置しそれぞれ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識して発表させる。 ・評価項目を確認し、評価させる。 <p>■振り返り</p> <p>振り返りシートで班の取り組み・個人の取り組みを振り返る。</p>	●	●	<p>【思判表】 ・資料の文章・図を効果的に使い、強調すべきところを印象づける発表ができる</p> <p>【主体】 [ワークシート] 活動を振り返り、改善を図ろうとしている</p>

(5) 本時の授業計画①

段階	学習内容・活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>[ねらい] 具体的な事例を用いて製品政策における課題を発見し、経済や消費者の動向を踏まえ、主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p> </div> <p>■宮崎高砂工業の「レンガ」について新しい使い道についての提案を行うことを確認する</p> <p>■ルーブリック評価の確認</p>	<p>・評価項目を再度確認させる。</p>	
展開 30分	<p>■ミラクルワードカードの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームにカードを配布し、一人15枚程度の中から1枚を選ぶ ・選んだ理由をワークシートに記入 ・チームでカードの情報を交換する ・チームの中から1枚のカードを選び、5W1Hマップに沿って意見をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と協働しながら、チームで取り組む事を促す。その際、役割分担ができているか確認させる。 ・採用された意見や建設的な発言については議事録に記録させる。 	<p>【思・判・表】マップの作成にあたって建設的な発言を行うことができ、課題達成に貢献することができる</p>
まとめ 10分	<p>振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>5W1Hマップの内容を発表し、情報を共有する</p> </div>	<p>他のチームの情報を共有することで、多角的な視点を持ち、マーケティングに適切に取り組むことの大切さに気付かせる。</p> <p>議事録を提出させる。</p>	

製品計画の概要

1 商品計画の内容

考えてみよう！製品と商品の違いは何でしょう。近くの人と話をしてみてください（ ）
なかを埋めてみよう。

商品・・・（ ）のために用いられる品物

製品・・・（ ）に（ ）を施してできた品物

商品計画（ ）は、（ ）を適切に取り揃えるための活動であり、主体の違いから次のように分けられる。そして、どちらにも共通した活動として、それぞれ商品管理が含まれる。

メーカーの場合：適切な（ ）づくりをめざす（ ）計画

流通業者の場合：適切な（ ）選びをめざす（ ）計画

2 製品計画の重要性

製品計画は、消費者の（ ）に適合し、社会の（ ）にも応えられる製品をつくりだす。したがって、それは企業の（ ）と社会の（ ）の基礎となる、重要なマーケティング活動である。

3 製品計画の内容

(1) 新製品の開発

新しい（ ）や（ ）を反映させた製品を企画し、実際に提供する。

(2) 既存製品の改良

既存(既にある)製品への（ ）の不満や希望、意見や提案を生かした製品を提供する。

(3) 既存製品の新用途の開拓

既存製品の使用実態から新しい（ ）を発見し、それに適した製品を提供する。

(4) 既存製品の継続的な生産

既存製品を大量に（ ）し、できる限り（ ）提供して、大幅な普及を図る。

4 流通業者による商品開発

(1) 総合スーパーの場合

簡素で低価格のPB商品を開発し、NB使用品との差別化を図っている。

PB（ ）流通業者が自主企画し販売する商品

コスモス薬局・・・（ ）

イオングループ・・・（ ）

NB（ ）有名なメーカーが生産し、全国的に販売する商品

(2) 生活協同組合の場合

() の高いPB商品を開発し、顧客に () を与えている。



生活と株式会社の違い

	生活	株式会社
出資する人	組合員（個人限定）	株主（個人ならず、法人も可）
出資者の主たる目的	事業の利用 より良い暮らし、より良い社会の実現	配当金、株の値上がり
組織面での特徴	利用者と出資者は同一 （人の結合体）	利用者と出資者は同一 でない （資本の結合体）
運営面での特徴	一人一票の意思決定 組合員参加による民主的運営	一人一票の株式権 株主は、日常運営に通常参加しない
財務面での特徴	出資者による剰取あり 剰取金の利用範囲配当を行う場合がある	剰取の配当に制限がない 剰取金への配当は特がない

生活のはじまり

生活のはじまりはイモリスのロゴマークから始まることのできることであります。世界で初めて生活の運営が成功した、ロゴマークの採用が生活協同組合の活動の第一歩です。

(3) 百貨店など

百貨店：PB商品に独自性を持たせ、() を演出している。
 コンビニエンスストア：PB商品に () を持たせ、集客を図っている。
 ローソン・・・()
 セブンイレブン・・・()
 ファミリーマート・・・() など

5 製造物責任と環境保全

(1) 製造物責任

() 法 () 法の制定により、社会的な考え方として定着した。

訴訟社会 () では製造物責任法（PL法）が厳しいため、訴えられて莫大な損害賠償を支払うことにならないよう、過剰なまでの注意書きが発達していききました。

ヘアドライヤー：「寝ながらの使用は避けてください」
 ナッツの袋：「袋を開けてナッツをお食べください」
 ピーナッツ：「ナッツが含まれています」
 スーパーマンコスチューム：「このコスチュームによって空が飛べるようになるわけではありません」
 睡眠薬：「眠くなる場合があります」
 アイロン：「着用している衣服にアイロンをかけるのはおやめください」
 ダイアル石鹼（普通の石鹼）の使い方：「普通の石鹼としてお使いください」

(2) 環境保全

「環境」が第三の商品選択基準として定着し、() の建設が進んでいる。

米コーヒーチェーン大手 () は、プラスチック製の使い捨てストローの使用を、2020年までに世界中の店舗で全廃すると発表した。微細なプラスチックごみによる環境汚染への懸念が高まっていることに対応した。

製品ミックスと製品政策

1 製品ミックス

製品ミックスとは、企業が市場に供給する製品の最適な（組み合わせ）のことであり、これは、通常、複数の（ ）によって構成される。また、製品ラインとは、密接に関連する製品群のことであり、これは複数の（ ）によって構成される。

(1) 製品ミックス構成

製品ミックスとは、（ ）と（ ）を持つ。

幅とは、（ ）の数のことであり、

奥行とは、各ラインの中に含まれる（ ）の数のことである。

(2) 製品ミックスの拡大

幅を広げる（ラインの追加）か、奥行きを深くする（アイテムの追加）かであるが、具体的な方向としては、（ ）、（ ）、（ ）の3種類がある。

水平的拡大：味の素がパルスweet(甘味料)を開発

垂直的拡大：味の素がアミノ酸を知識や技術を使いアミノバイタル(スポーツ補助食品)を開発

異質的拡大：富士フィルムがフィルムの原料であるコラーゲンを使い化粧品開発

(3) 製品ミックスの縮小

幅を狭める（ラインの整理）か、奥行きを浅くする（アイテムの廃棄）かであるが、具体的には、効率の悪い製品ラインの（ ）と不採算製品の（ ）が考えられる。

調べ学習！グループで製品垂直的・異質的拡大について調べてみよう！

教科書の事例ではL社（ロッテ）の話が記載されていますが、どんな会社が、どのような商品作りからスタートし水平的・異質的拡大をしてきたか調べてみよう。

①知っている会社を調べる 例えば、ディーリー牛乳（南日本酪農）のHP

（調べた会社 ）

②会社がスタートしたときの商品 例えば、ディーリーは牛乳からスタート

（スタートした商品 ）

③垂直的・異質的拡大について調べる 例えば、ディーリーは乳酸を生かしたジュースやアルコール飲料の開発をした

（垂直的・異質的拡大 ）

④その商品とは 例えば、ディーリーはスコールやミルクイーランドなど

（商品名 ）

2 製品政策

製品にどのような（ ）を持たせ、どのような（ ）を準備するか、ということに関する一定の方針のこと。

(1) 製品標準化政策

一般的な消費者の（ ）に基づき、できるだけ製品の種類を（ ）とする政策。

(2) 製品多様化政策

消費者の（ ）なニーズを尊重し、製品の種類をできるだけ（ ）にしようとする政策。

製品政策	大量生産	商品管理	販売価格
製品標準化政策			
製品多様化政策			

(3) 製品差別化政策

自社製品の持つ（ ）を強調し、（ ）を引きつけようとする政策で、販売促進活動の側面が強く、独占市場における（ ）の焦点となっている。

確認問題 5

1 次の文中の（ ）に適切な用語を記入しなさい。

企業が、消費者に対して「適切な商品を、適切な場所で、適切な時期に、適切な（ ）を、適切な価格で」提供するための計画を（ ）という。これは、メーカーの場合には（ ）となり、流通業者の立場からは（ ）となる。

2 次の文章に誤った個所に線を引き、（ ）に適切な用語を記入しなさい。

- (1) 現在の製品をもとにして、同種製品や関連製品を製造することを製品ミックスの垂直的拡大という。 ()
- (2) 既存の製品アイテムとは全くことなる分野へ進出することを製品ミックスの異質的拡大という。 ()
- (3) 業界各社が製品差別化政策をとると、非価格競争となるが、これはふつう競争市場で見られる。 ()
- (4) 生産された製品や仕入れられた商品の数量や状態を適切に管理し、保管する活動を在庫管理という。 ()

自己評価

製品計画は理解できましたか	5	4	3	2	1
配布プリントはしっかり取り組めましたか	5	4	3	2	1
自ら進んで学習できましたか	5	4	3	2	1

1. 宮崎高砂工業で製造されている「レンガ」や「瓦」の特性をまとめよう

①材料について

②デザインについて

③品質・性能について

2. 製品計画（既存製品の改良）について、宮崎高砂工業の話からまとめてみよう。

（例）以前は〇〇だったが、現在は…

①原材料の変更

--

②スタイル・デザインの改良

--

③品質・性能面での改良

--

3. メモ欄（上記以外に気づいたことなどをメモしよう）

--

1. 配布されたミラクルワードカードの中から1枚選び、カードを選んだ理由をまとめてみよう。

(理由)

2. グループ全員のミラクルワードカードを記入して、情報を共有しよう。

メモ

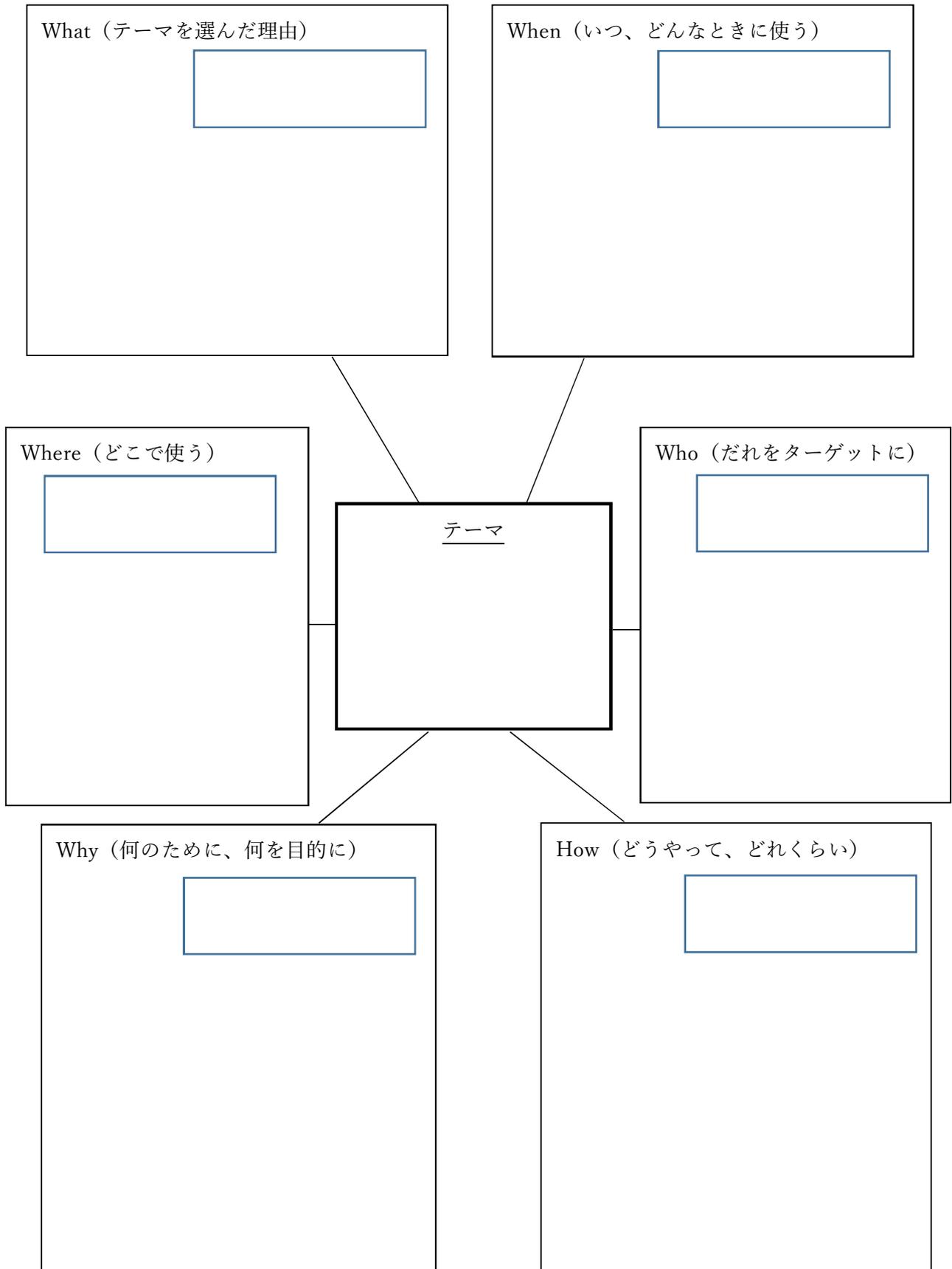
メモ

メモ

メモ

メモ

3. グループから1つテーマを選び、5W1Hマップを使って「レンガの新用途の開拓」についてアイデアをまとめよう。



() 班 班員 (出席番号) → () () () () () () ()

テーマ

【5W1H マップから商品の PR を自由に記入しよう】

イメージイラスト

作成上の留意点

1. 5W1H が盛り込まれた発表用シートになっているか
2. PR したいことは強調されているか
3. 文字・図のバランスはとれているか

1. 第5章の取り組みを振り返って自分の評価にチェック（○）を入れてスコアをつけよう。

	よくできた（15点）	まあまあ（10点）	あまり（5点）
宮崎高砂工業講話 プリント NO. 1			
新用途のアイデア プリント NO. 2			
発表シート作成 プリント NO. 3			
発表			

合計 _____ 点

2. 第5章を振り返って、学んだこと、できるようになったことについて記入しよう。

3. 第5章の取り組みや発表評価シートを振り返って、今後、改善していきたいことについて記入しよう。

発表タイトル	
発表者氏名	
気がついたこと・メモ	
発表者への質問	

	採点項目	採点				
内容	①発表の内容は明確であったか	5	4	3	2	1
	②レングの新しい使い道が提案されていたか	5	4	3	2	1
資料	①資料の文章・図は効果的に用いられていたか	5	4	3	2	1
	②強調すべきところを印象づけるような工夫がなされていたか	5	4	3	2	1
態度	①言葉づかいは正しく使われていたか	5	4	3	2	1
	②発表者の声は聞き取りやすかったか	5	4	3	2	1
	③制限時間を守り、適切な時間配分がされていたか	5	4	3	2	1
合計					点	

評価基準 5 = よい 4 = まあまあ 3 = ふうつ 2 = もう少し 1 = 努力不足

発表タイトル	
発表者氏名	
気がついたこと・メモ	
発表者への質問	

	採点項目	採点				
内容	①発表の内容は明確であったか	5	4	3	2	1
	②レングの新しい使い道が提案されていたか	5	4	3	2	1
資料	①資料の文章・図は効果的に用いられていたか	5	4	3	2	1
	②強調すべきところを印象づけるような工夫がなされていたか	5	4	3	2	1
態度	①言葉づかいは正しく使われていたか	5	4	3	2	1
	②発表者の声は聞き取りやすかったか	5	4	3	2	1
	③制限時間を守り、適切な時間配分がされていたか	5	4	3	2	1
合計					点	

評価基準 5 = よい 4 = まあまあ 3 = ふうつ 2 = もう少し 1 = 努力不足

第5章 製品計画 宮崎高砂工業プロジェクト学習 ルーブリック評価表

評価観点	評価方法	A (15)	B (10)	C (5)
		十分に満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
【主体的に学習に取り組む態度】	観察 NO. 2	5W1Hマップの作成にあたって、建設的な発言を行うことができ、他のメンバーに対しても配慮し、課題達成に大いに貢献することができる	5W1Hマップの作成にあたって、話し合いに参加し、意見を整理し関連付けたりして発言でき、課題達成に貢献することができる	5W1Hマップの作成にあたって、話し合いに参加しているものの、意見することができず、課題達成に貢献することができない (グループの意見を参考にしながら、提案することの大切さに気付かせる)
【主体的に学習に取り組む態度】	内容 NO. 4	企画の実施に関心を持って取り組み、課題を創造的に解決する力を身につけようとしている 他者の意見や助言などを踏まえて活動を振り返り、新たな課題を発見し、改善を図ろうとしている	課題解決に責任を持って取り組みようとしている。他者の意見や助言を踏まえて活動を振り返り、改善を図ろうとしている	課題解決に取り組もうとしている。他者の意見や助言から改善点を見つけ出すことができない。 (これまでのプリントを振り返り意見を踏まえ助言を与える)
【思考・判断・表現】	内容 NO. 2	ミラクルワードカードを活用して自ら問題解決しようとしていることが、理由の記述から十分読み取れる	ミラクルワードカードを活用して自ら問題解決しようとしているが、理由の記述が不十分である	ミラクルワードカードの選択はできているが、理由の記述ができていない (自ら選択した理由には意味があることに気付かせる)
【知識・技術】	内容 NO. 1	宮崎高砂工業の取り組みを通じて既存製品の改良を理解し、その変遷について明確に記述されており読みやすく整理されている	宮崎高砂工業の取り組みを通じて既存製品の改良を理解し、その変遷について記述されて整理されている	宮崎高砂工業の既存製品の改良についての理解が不十分で、その変遷についての記述が不十分である (身近な地元企業の講演を聞いて理解することは、マーケティングへとつながることを意識させ興味を持たせる)
【思考・判断・表現】	表現方法等 NO. 3	発表の内容が明確で、レンガの新しい使い道が提案されている。資料の文章・図を効果的に用い、強調すべきところを印象づけるような工夫がされている	レンガの新しい使い道が提案されており、資料の文章・図の活用ができているが、強調すべきところが不十分である	レンガの新しい使い道について提案されているが、資料の文章・図の活用ができていない (わかりやすく表現することは、相手への説得力へとつながることに気付かせる)

C・・・「努力を要する」具体的な生徒の手立て